

樹木保護の基本施工方法

被害樹木（産卵・脱出防止テント巻き仕様）

補殺・フラス堆積防止・フラス除去・殺虫剤再注入が容易



ネット1枚で樹体上部から地際までカバーができ、フラスの途中堆積防止・殺虫剤再注入・補殺が容易

ネットの被覆前処理 施工手順



①フラス堆積の除去作業
殺虫剤効果や再被害を確認し易くするため除去。



②排糞孔のフラス清掃作業
排糞孔のフラス清掃と殺虫剤注入を行なう。



③幼虫の刺殺駆除作業
排糞孔から針金・千枚通し等で刺殺を行なう。



④産卵跡の確認除去作業
産卵が確認をされた場合は即刻除去を行なう。



⑤被覆樹木の「ひこばえ・小枝」打ち作業
ネットを傷つけないよう「ひこばえ・小枝」打ちを行なう。



⑥「小枝」打ち口への殺菌剤塗布作業
「ひこばえ・小枝」打ち口に予防の殺菌剤塗布を行なう。

被害樹木のテント巻き仕様の施工手順



①ネットの採寸作業
被害樹木の最も太い地際の樹体幹周もしくは、地面根張り部分を含めた採寸を行なう。



②浮かせヒモの取付作業
樹体とネットの隙間を無くするため、浮かせヒモを地際から上部1.8m付近の幹周に巻き付ける。



③被覆ネットのカット作業
地際の幹周採寸長さに、側面縫合分の若干の余裕をプラスしてネットのカットを行なう。



④ネットの被覆巻き付け作業
樹体に取り付けた浮かせヒモの上部に、ネットをガンタッカーで幹周に直接打ち込み、余るネットは手繰り重ねて均等に振り分け固定を行なう。



⑤ネットの背面縫合作業
ネットの格子を合わせホッチキスで背面縫合の後、粘着テープをネット縫合端部に巻き込むように張りホッチキス止めにて補強を行なう。（景観配慮のため背面縫合）



⑥浮かせヒモを粘着で補強作業
浮かせヒモ上部に粘着テープを二重に巻き付けてガンタッカーで千鳥状に上下に打ち込みを行なう。



⑦シュロ縄での補強作業
粘着テープの上にシュロ縄で二重巻きに補強し、ガンタッカーで打ち込み固定を行なう。



⑧地面への固定作業
ネットの端部を内側に折り込み、強度アップの後にU字ピン等で地面に打ち込み、地際の根張り部もしっかりネットで被覆保護を行なう。

施工前準備 施工作業に必要な全ての資材および施工現場に必要な工具が揃っているかをご確認ください。



【施工作業に必要な資材】

クビアカガードネット
浮かせヒモ用PPロープ
補強用シュロ縄
補強用粘着テープ
固定用U字ピン
幼虫駆除用殺虫剤
殺菌塗布剤
クビアカ脱出防止シート 等

【施工現場に必要な工具】

ガンタッカー（針：足長13mm・ステンレス製）
ホッチキス（針：ステンレス製）
金槌・ハサミ・カッターナイフ
排糞孔清掃と刺殺用の千枚通し（針金含む）
メジャー・ノコギリ 等